ILCによる地域振興ビジョン（概要版）

策定の背景

○　ＩＬＣの動向
　平成31年３月７日、文部科学省はＩＬＣ計画に関心を持って国際的な意見交換を継続すると政府として初めてＩＬＣ計画への関心を表明

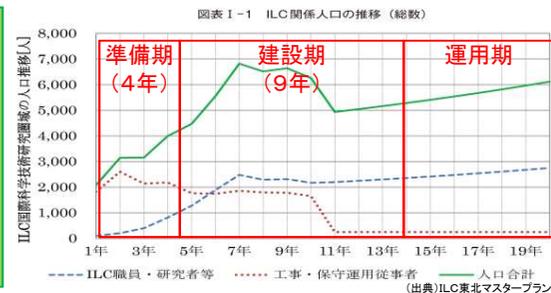
○いわて県民計画(2019～2028)
『ＩＬＣプロジェクトの推進』
　国際リニアコライダー（ＩＬＣ）の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積。知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指す。

計画体系

ＩＬＣ東北マスタープラン（2018. 7）
東北の取組方針

いわて県民計画「ＩＬＣプロジェクト」
↓
ＩＬＣによる地域振興ビジョン

ＩＬＣを契機として、世界に開かれたイノベーション拠点となり、未来に向かって発展する地域となるための基本方向を明らかにするもの

スケジュール

ＩＬＣプロジェクト推進のための5つの柱

政策項目	準備項目と現状	対応の方向性	目指す姿
①国際研究都市の形成支援 数千名の研究者等が滞在する国際研究都市、多文化共生のまちづくり	【まちづくりインフラ】 ・研究所周辺整備や物流ルート等を検討 【研究人材育成】 ・ILCへの関心を高める活動を実施 【地域の国際化】 ・国際交流協会等との連携	・生活利便性や快適性等が確保された居住環境、コミュニティの整備支援（地域国際化も） ・ILC事業者と連携した必要な手続の実施 ・研究者や高等教育機関と連携した戦略的人材育成	**人、モノ、情報の世界との交流拠点　いわて** ・いわて型国際研究都市の形成 ・自然環境と調和したILC国際研究所の建設 ・ILCを担う将来の人材育成
②イノベーションの創出 ＩＬＣ国際研究所を核に加速器関連産業が集積。ＩＬＣの先端技術からイノベーションが創出	【加速器関連産業の集積】 ・研究会で参入を促進（現在213企業） ・ILCに関わる各種産業への展開支援も必要 【イノベーション創出拠点形成】 ・県イノベ指針策定　・具体の仕組みづくり必要	・加速器関連産業の集積に向けた環境整備 ・イノベーションセンター（仮称）を中心とした、研究者や技術者の連携推進 ・加速器関連先端技術等を担う専門人材の育成	**産業・イノベーション拠点　いわて** ・ILCを核とした加速器関連企業群の集積 ・オープンイノベーションネットワークによるイノベーションの創出
③ＩＬＣによるエコ社会の実現 ＩＬＣを中心にサステナブルな地域の実現。ＩＬＣ施設住宅の木造化、排熱利活用、などエコ社会の実現	【地域循環型エネルギー体制構築】 ・ILCの排熱を想定した熱活用の共同研究中 【県内森林資源活用】 ・大型実験施設への導入に向け共同研究中 ・木造建築の県内導入の促進へ	・ILC排熱の県内産業・コミュニティへの有効利用 ・県産材によるILC建築物や研究者住居の木造化 ・再生可能エネルギーの利用推進に係る研究	**持続可能なエネルギーマネジメント地域　いわて** ・ILC排熱活用など地域資源との連携 ・森林資源の活用と循環型エネルギーサイクルによるエコ都市の実現
④海外研究者の受入れ環境整備 数千名の海外研究者家族が地域に混住し快適に生活する環境（住居、教育、医療ほか）の整備	【生活環境整備】 ・行政手続、住居、医療、子弟の教育・保育、買い物・食事、配偶者の就労等について方策整理中 【地域住民との融合】 ・講演会等で意識付け　環境整備の検討で共有	・ワンストップサービスの提供 ・外国人子弟受入校や受入保育所の整備 ・外国人向け医療体制の構築 ・買い物・食事・余暇活動の外国人対応 ・外国人研究者配偶者の就労支援	**外国人受入れと多文化共生の先進地域　いわて** ・外国人が快適に暮らしている街の実現 ・研究者家族と地域住民が融合した新しいまちづくり
⑤交流人口拡大と地域の科学技術教育水準の向上 ＩＬＣによるサイエンスツーリズムや、海外研究者の出前や授業など地域の科学技術教育水準の向上	【サイエンスツーリズム】 ・ILC見学を核とした新たな観光を検討中 【理工系教育】 ・モデル推進校の支援　コンテストの開催	・ILCビジターセンター整備と県内関係機関と連携したサイエンスツーリズムの展開 ・世代別のILC等理工系教育プログラムの構築	**世界最先端のサイエンスと食・観光・自然の魅力あふれる国際都市　いわて** ・ILC見学者等多くの人々が回遊し岩手の魅力に触れる機会の創出 ・ILCを通じた理工系教育水準の向上と世界と通じ合う地域社会の実現

ILCによる地域振興の取組項目とスケジュール

取組項目	準備期（４年）	建設期（９年）	運用期
Ⅰ　国際研究都市の形成支援 ①　まちづくり・インフラ ②　研究人材育成 ③　地域の国際化	●ＩＬＣ全体が自然環境と調和する計画となるよう計画主体への提言 ●海外研究者家族が快適に暮らすことのできるＩＬＣの周辺整備とまちづくり支援 ●関係機関等と連携した人材育成プログラム策定 ●地域国際化に向けた機運醸成、国際化人材育成	●ＩＬＣ建設（ＩＬＣ事業者との連携） ●ＩＬＣ周辺整備、まちづくり推進（市町村との協働、支援等） ●関係機関と連携した戦略的人材育成 ●関係機関と連携した地域国際化支援と海外に向けた情報発信	●国際研究拠点形成と拡大支援策実施 ●人材の活躍支援と更なる人材育成 ●関係機関と連携した地域国際化支援と来県外国人研究者に対する現地生活情報の発信
Ⅱ　イノベーションの創出 ①　加速器関連産業集積促進 ②　イノベーション創出拠点形成	●加速器関連産業集積に向けたコンソーシアム形成及び支援機能強化 ●コーディネート人材育成 ●イノベーションセンター設計及び施工 ●人材支援体制の構築	●空き工場等企業活動の場の整備、企業誘致、企業支援、エコシステム構築 ●地元資源のデータベース化、社会実装推進 ●イノベーションセンター運用 ●設備整備融資等の支援	●ＩＬＣでの研究成果を活用する一大研究ゾーン（サイエンスシティ）形成 ●イノベーションセンターを核としたＩＬＣ技術移転システム運用による新たなイノベーション創出 ●エコシステム構築、イノベーションネットワークによる地元企業支援
Ⅲ　ＩＬＣによるエコ社会の実現 ①　地域循環型エネルギー体制構築 ②　県内森林資源活用	●産学官連携による環境配慮型ＩＬＣ計画の共同研究 ・ＩＬＣ排熱活用（１次産業、住居等） ・ＩＬＣ実験準備棟及び住居の木造化 ・太陽熱有効利用等 ●県産木材有効利用に向けた体制構築	●ＩＬＣ事業者や市町村への産学官共同研究成果に基づくグリーンＩＬＣの提言、実践 ●関係機関との連携による持続可能な地域社会の形成 ●ＩＬＣ計画における県産木材有効利用の推進	●ＩＬＣを中心に地域全体が循環するグリーンＩＬＣ都市の実現 ●環境配慮型エネルギーシステムの展開による持続可能な地域社会の更なる拡大 ●木材供給システムとの調和による継続的な県産木材有効利用
Ⅳ　海外研究者の受入れ環境整備 ①　海外研究者家族が快適に暮らせる生活環境整備 ②　地域住民と融合したまちづくり	●ワンストップサービス提供に向けた体制整備 ●外国人子弟受入れ校や受入保育所整備計画策定 ●多言語に対応した地域医療受入れ体制検討 ●県産農林水産物等の地域資源を生かした買い物・食事・余暇活動の国際化対応準備 ●外国人研究者配偶者の就労支援体制検討	●ワンストップサービス提供に向けた体制運用 ●外国人子弟受入れ校や受入保育所整備支援 ●多言語に対応した地域医療体制運用 ●買い物・食事・余暇活動の国際化対応支援 ●外国人研究者配偶者の就労支援体制構築	●IoTやAIによる外国人研究者家族の快適な生活支援の実現 ●外国人研究者等が安心して生活できる地域受入れ体制の確立 ●外国人が好んで定住する圏域の実現
Ⅴ　交流人口拡大と地域の科学技術教育水準の向上 ①　サイエンスツーリズム ②　ＩＬＣ教育	●ＩＬＣ見学を核とした新たなツーリズムの構築 ・他の県内科学関連施設との観光連携 ・インバウンド観光施策との連携 ・県内地域資源の活用検討 ●世代別ＩＬＣ等理工系教育プログラムの構築	●ＩＬＣ事業者と連携したＩＬＣサイエンスツーリズムの推進 ●世代別ＩＬＣ等理工系教育プログラムの運用による教育水準向上	●ＩＬＣ実験開始によるサイエンスツーリズムの展開と岩手の魅力向上・発信 ●ＩＬＣ研究者と連携した世代別ＩＬＣ等理工系教育プログラムの更なる展開

ILCによる地域振興ビジョン